

方針 5 うたごえ出版物をより多くの人にひろめ、様々な出会い・ドラマ・感動の輪を広げる。

〔事業・出版活動〕

「SINGING PEACE 999」運動が提起される中、ここ数年の新しい歌も掲載した新版「うた・うた・うた」はカラオケCDとあわせ、時代を切り拓く歌集として出版された。「こんな歌集がほしかった」と歓迎され、予約だけで短期間に1万冊を越え、「字を大きく」などの要望にすぐに対応しながら、1万2500冊が普及されている。「選曲がよい、新曲紹介もありがたい」など、年金者組合、介護センター、書店などからの注文も多い。カラオケCD第2弾と合わせ、60周年に向かう普及運動、「SINGING PEACE 999」運動の大きな力にしていくことが求められている。

「06メーデー歌集」は3万5500冊を普及、前年からわずかながら増えている。三多摩メーデーはうたごえが企画を担当し、「歌って元気なメーデー」として成功し、「歌集」もこの地域では、近年最高の1000冊を越えた。同時に発行した憲法・平和歌集「ねがい」は平和、憲法、教育基本法の集会でうたわれ8000冊を越えた。「ねがい」を筆頭に「あの日の授業」「憲法九条五月晴れ」「ピース・ナイン」などが好評。「ねがい」歌集は今年度もひきつづき広げていく必要がある。

「06祭典歌集・あったかいうた」は祭典企画と合わせ作成され、祭典参加者への普及、練習会などで活用され2250冊普及された。

書籍「ねがい」(三輪純永・著)は短期間に2000冊を普及、感動と共感を広げている。「ねがい」のうたとともにさらに広範な人々への普及が求められている。

この間の日韓音楽交流から実現したキム・ウォンジュン日本公演、チェルノブイリ原発事故被ばくから20年になるナターシャ・グジーコンサートでも多くのCDが普及されている。グジーさんは合唱団の演奏会、県、産別祭典、各地の集会にもゲスト出演し、CD「こころに咲く花」が大好評。

音楽センター出版物は保育、教育、手話なども主力になり盛況の各講習会などでひろがっている。06年日本のうたごえ祭典では、「つながりあそび・うた研究所」関係のメンバーの大きな協力で事業販売でも祭典成功の力となった。

各合唱団、個人の自主出版も活発に行われている。

音楽著作権を尊重した取り組みはひきつづき大切である。